

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	商業係
■評価事業名称	商店街振興事業補助金			
■評価事業コード	060200 - 102	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	03 活気ある商工業の振興		
■事業の種類	06 負担金・補助金(ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の概要	商店街の活性化と商業振興、商店街組織の維持。商業団体等が実施する調査・計画策定事業、事業設計・システム開発事業、実験的運営事業、イベント事業等に係る経費に対して補助金を交付する。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	商店街振興事業補助金	商業団体等		補助総額:2,940千円 交付件数:9件

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	3,959	3,901	2,743	2,941	
人件費	988	82	973	79	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,947	3,983	3,716	3,020	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	補助交付件数	9件	9件	8件	9件	交付件数:9件(9団体。イベント事業8件調査・計画策定事業1件)
03	商店街等会員数	469人	469人	469人	469人	H17:H16+3人=613、H18以降現状維持613
04	補助交付1件当たりコスト	549千円	442千円	342千円	327千円	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

補助対象である市内17団体へ周知を図っているが、申請するのは実績がある9団体である。補助交付1件当たりのコストが平成23年度から減少しているのは、補助上限額の変更によるものである。

問題点・課題等

実績がない団体は、活動自体をしていない所が殆どであり、当補助金の紹介だけではなく実施を促すアクションが必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■ 今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明